

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	鈴木 悠平
作業名称	集水桝改良工	作業手順書	作成年月日	令和4年6月3日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	2tトラック、ライトバン、バックホウ、4tユニック		改正年月日	
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	発電機、鋲、ほうき、スコップ、ハンマードリル、ディスクサンダー、のこぎり、石頭ハンマー		現場責任者	
	コンクリートカッター		協力会社	会社名 -
保護具	ヘルメット、手袋(刃物作業時は耐切削用)、保護メガネ、飛散防止ネット		協力会社責任者	自署サイン -
	自動車運転免許証、振動工具(特)、小型車両系建設機械3t未満		作業順序	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証、振動工具(特)、小型車両系建設機械3t未満		1	現地確認
			2	準備作業
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 2人、保安員 1人		3	荷下ろし
	合計 5名		4	基礎作成
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	5	コンクリート打設
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自署サインする)		6	ます作成
			7	後片付け
			8	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						(防止対策)
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認・動線の確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
			健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ、脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。						
荷下ろし (責任者、作業員、保安員)	非常駐車帯に車両を停止し、 道具を下ろす	通行車両注意	道具を運ぶ際に通行者と接触する	△	×	△×	4		作業前に通行車両の動線をしっかりと確保し、保安員の誘導もと運搬を行う
集水ますの基礎作成 (責任者、作業員、保安員)	集水ますの基礎を作るため、 木材を切り出し、型枠を作成する	手元注意	のこぎり等で手を損傷する。	△	△	△△	3		無理な体制で作業しない、切削手袋を装着する。
	型枠固定箇所をハンマードリルで削孔し、 鉄筋を差し込み型枠を固定する。	手元注意	石頭ハンマーで手を打つ	△	△	△△	3		無理な体制で作業しない、保護手袋を装着する。
	急結セメント、モルタルを使用し、 基礎を打設する	周囲確認	セメントが目や肺に入る	△	△	△△	3		保護マスク、保護メガネを着用する。
集水ますの作成 (責任者、作業員、保安員)	コンクリートブロックをコンクリートカッターを使用し 適切な形に整える	手元注意、周囲確認	コンクリートカッター等で手を損傷する。	△	×	△△	4		無理な体制で作業しない、保護手袋を装着する。
	基礎の上にコンクリートブロックを 並べますを作成する。	手元注意	コンクリートブロックを足に落とす	△	×	△△	4		無理をせず一つずつ、設置する。
後片付け (責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事